

上越民商ニュース

発行
上越民主商工会
〒943-0827
上越市栄町7-7
TEL025-524-4816
FAX025-524-3298

新潟県再稼働反対の市民の声が 知事選 財界・原子カムラを圧倒

柏崎・刈羽原発の再稼働問題を最大の争点とした新潟県知事選挙は、民商も加盟する「新潟に新しいリーダーを誕生させる会」が推薦した米山隆

一氏が森民夫氏に6万3千票余りの大差で当選しました。選挙結果は、来年早々ともいわれる原子力規制委員会の適合性審査後の地元同意が難しくな

ることから、原発再稼働は遠のいたとの見方が大勢になっており、「原発再稼働反対64.1%」の声が、財界や原子カムラの圧力を跳ね返し圧倒しました。

上越民商は、10月3日の常任理事会以降、支部役員会を先頭に、全会員



演説会後、選挙運動を支えるママ達に囲まれる米山氏 10/10文化会館

県内の民商は、12月11日までに、読者・会員・共済・婦人・青年の5つの分野で会員を増やそうと一斉に拡大行動に取り組んでいます。目標は、全商連第52回

読者・会員・共済・婦人・青年の総合拡大を！

総会現勢の回復・突破で、上越民商では、読者27人、会員8人、共済9人、青年1人で、婦人部は現時点で目標を達成しています。(今後、退会が0人と仮定して)

『商工新聞』は、中小業者の要求と解決の道筋を各地の実践とともに伝えていく中小業者に役立つ情報の宝庫です。毎週月曜発行で月額500円の商工新

聞を気軽に勧めて下さい。一人親方労災や、記帳・決算、資金繰りで困っている業者がいたら「民商に相談を」と進めて下さい。

に「資料袋(リーフ、支持カード、募金袋)」を届け、支持を広げてもらう行動に取り組みました。

会員との対話では、「再稼働は絶対反対。絶対米山だ。」と、先の参院選以上の反応が表れました。

選挙結果を受け、ある支部長は、「昔の利益誘導型選挙から、県民の声や要求が運動を左右する選挙になった。国民レベルで地殻変動が起きているし、国民の声が政治を動かす力になっていることは素晴らしい事だ。我々ももっと向上しなければ。」と話しています。

風営法の実態・問題点を話し合い

「談笑・お酌で罰金100万円」。風営法問題を交流するため10月12日、直

江津で飲食店を経営する会員が集まり、現状と対策を話し合いました。

参加者は風営法の問題点をスクープした商工新聞記事などを読み、風営法の運営基準や、国会の付帯決議、京都や札幌での事件概要を理解した上で現状や疑問点を出し合いました。

何が接待なの？

一番問題になったのが、「何が接待になるのか」

一人じゃ無理でも、みんなでやれば楽しく出来る

婦人部は10月12日に謙信交流館で、パソコン教室を開催し2名が参加しました。「日頃忙しくパソコ

ンも開けなかったけど、良い機会を与えてくれた」「決算が近づいていて入力が合っているか確認し



「こういう機会は助かる」婦人部主催のPC記帳会参加者 10/12謙信交流館

たかった」など参加動機はそれぞれですが婦人部で開催したことを参加者は大変喜んでいました。

休憩は、コーヒーとケーキで一息つき、「健康診断や婦人科検診すると共済会から助成金が出る」話や「家族の話」で会話が弾みました。

参加者の山田みきさん(城東)は「婦人部の集まりは楽しい」と次回の開催参加を約束しました。

※次回は11月16日(水)、午後1時30～ レインボーセンター 参加費は無料(休憩にお茶とお菓子を用意します)

るとは思えない。など意見が出されました。

他人事にせず 皆で学ぼう

一方、直江津や高田でも立ち入れられたなどの話を聞かないので、つい他人事になっている。

この集まりを一回で終わらせないで、アンケートなども取りながら実態をつかむことと、風営法についてみんなが学べる機会を作って、実態にそぐわないと思うことは交渉し、改善を求める手立ても考え営業を守ろうと話していました。

妙高班では 継続開催が力に

妙高班では班長の大来さん(食堂)を借りての開催で、4人が参加しました。直近の取引まで打ち込みができた人は1人。残る3人はまだ入力に必死です。自宅ではなかなか出来ないけどここに来ればできると好評ですがついにおしゃべりに夢中になってしまいます。

班では、毎回みなさんの都合を聞いて次回の日程を決めています。